



学校だより

唐津市立加唐小中学校
第5号

令和元年8月26日発行
文貴 校長 井上 英史

海 開 き

今年度も1学期終業式の日に、夏休み前恒例の「海開き」を行いました。当日は気温が低く、雨も心配されましたが無事に開催することができました。小学校1年生の奎真さんがお手本となって準備運動を行った後、一斉に海に入りました。「冷た〜い♪」という歓声が上がり、お互いに水をかけ合い、着衣泳の授業で教わった浮き方を実践するなど、「プールよりも体が浮きやすい!」ということを実感していました。最後には、これも恒例となっている度胸試し?の「飛び込み」をしました。保護者の方から海に投げ入れられる児童もいて大盛り上がり!!笑顔いっぱいの行事となりました。保護者の皆様、ご参加ありがとうございました。



子育てサロンに参加しました!

7月16日(火)海青中・小川中・馬渡中・加唐中の生徒32名が参加し、楽しく過ごしました。まず6グループに分かれて、子育て中のお母さんたちへの質疑応答を行いました。その後、妊婦ジャケット体験や小さな子ども達と一緒に遊びました。本校から参加したOさんは子育てサロンに参加して、事後のアンケートに「小さな子と遊ぶだけでなく、疑問に思っていたことが聞けたので良かったです。」「お母さんたちの話を聞いて子育てがとても大変だということを知ったので、できるだけ母に負担をかけないようにしたいと思います。」と書いていました。



保 育 所 訪 問

7月25日、加唐保育所を今年度赴任した4人の本校職員が訪問しました。これは園児達との交流を通じて保育所と小中学校との連携を図る取り組みです。朝のお遊戯や体操など一緒にしたり、紙芝居やスイカ割りをして交流を深めました。保育所の先生方は、園児達一人一人が自主的に取り組むよう言葉かけをしたり、協力することの大切さを教えられていました。7名の園児達は、元気な子や大人しい子、恥ずかしがる子など様々ですが、島の子もたちの前向きな姿勢や互いを思いやる心が育まれる環境の原点を改めて感じ、このつながりを大切にしていかなければと思いを新たにしました。



働き方改革で変わる教職員の勤務体制

働き方改革の波は学校現場にも押し寄せてきています。これまで夏季休暇(7~9月までに3日間の休暇が取得できる制度)で、8月13~15日の3日間はほとんどの先生が夏季休暇を取得され、管理職が交代で日直を務めるような態勢が長年続いていました。しかし、この8月の3日間は県下一斉に「閉庁日」とされ、土・

日の週休日と同じように学校自体が閉じられる期間へと変わりました。また職員は夏季休業中に年休を積極的にとることが推奨され、校務に支障がない範囲で職員も交替で年休を取得するようになりました。時間外勤務も厳しくチェックされ、100 時間を越えればドクターの面接を受けなければなりません。まさしく、私たちには、全てに時間無制限で取り組むのではなく、軽重やメリハリをつけることにより限られた時間の中で効率化を図りながら、より多くの教育効果を上げることが求められています。もちろん学校現場にとって「子どもファースト」が不易の事実であることを私たち教職員は忘れてはなりません。



研究発表会を 10 月 4 日に開催します！

昨年度から本校では国立教育政策研究所及び県教育委員会の指定を受け「へき地教育」の研究に取り組んでいます。研究テーマは「実践的コミュニケーション能力の育成～主体的・対話的に学ぶ児童・生徒の育成を目指して～」です。テレビ会議システム等の ICT 機器を活用し、他の学校や専門機関等とのやりとりを通して子ども達のコミュニケーション能力を培うことが狙いです。昨年度の中間発表会では多くの高評価を頂きました。そして今年度 10 月 4 日（金）開催の発表会が集大成です。当日は多くのお客様が見込まれますので、保護者の方々ははじめ、島の方々にもご協力をお願いしなければならないと考えております。改めてお願いに伺いますので、宜しくお願い致します。



新しい公用車「SUZUKI エブリイ」がやってきました！

これまで緑色の幌がトレードマークだった軽トラの公用車、いよいよ車検も通らないほど、あちこちがサビつき、ブレーキの効きも悪く、異音が常にしていたため、新しいクルマがやってきました。今度のクルマは軽トラではなく軽のバンです。なんとエアコンも装備、折り畳みの後部座席を出せば 4 名も座ることができます。しかも荒天時でも雨が降り込むことは決してありません。それでも緑の軽トラ、大きな荷物の運搬だけでなく、職員の引っ越しの際の家財道具運びなど、大変お世話になりました。最後の日までよくぞ持ち応えてくれました。本当にありがとう！

新車の公用車 →



加唐島・松島の草花たち(12) 「クサギ」

ウィキペディアでは、日当たりのよい原野などによく見られるシソ科の落葉小高木で葉に悪臭がある事からこの名がある、と書かれていますが、幾たび葉の嗅いでもそれほど臭くはなく、ゴマの香りさえしてきます。しかも若葉は山菜として食することができ、右のように可憐な花も咲かせ、十分鑑賞に値します。そのため、命名者の悪意すら感じてしまいます。

夏真っ盛りの時期に花を咲かせ、チョウなどがしばしば吸蜜に訪れ、秋には赤いガクに包まれた青紫色の実をつけ、実から採れる液は染料にもなります。優しく染まったブルーの色からは、この植物の名前など誰が想像できるでしょうか。



9 月の行事予定

2(月) 始業式・発育測定

5(木) 校外学習

12(木) 防犯教室、交通安全教室

3(火) 食育推進委員会

5(木) ~6(金) 小 6 修学旅行

26(木) 愛鳥モデル校事業（ハチクマの渡り観察会）

4(水) 観劇事前ワークショップ

10(火) 育友会役員会